

個別カルテ（個人ファイル）における実態の記入についての参考資料

	主として乳児期前・後半	主として幼児期	主として学童期以降
健康	<p>[生活リズム] 睡眠のリズムを中心に、食事の時間など。</p> <p>[摂食] 食形態と口唇、舌やあごの動き、飲食のための姿勢や腕の使い方など。好みの味。</p> <p>[排泄]</p> <p>[体の使い方] 移動や姿勢を中心に。</p> <p>[発作など]</p>	<p>[生活リズム] 睡眠のリズムを中心に。。食事の時間など。</p> <p>[摂食] 食形態と口唇、舌やあごの動き、飲食のための姿勢や腕の使い方など。好みの味。</p> <p>[排泄] トイレサインはあるか。</p> <p>[姿勢]</p> <p>[移動]</p> <p>[全身の使い方] 台からの飛び降り、片足立ちやジャンケン。ブランコ、3輪車など。</p>	<p>[生活リズム] 睡眠のリズムを中心に。食事の時間など。</p> <p>[摂食] 食形態と口唇、舌やあごの動き、飲食のための姿勢や腕の使い方など。好みの味。</p> <p>[排泄]</p> <p>[姿勢]</p> <p>[移動]</p> <p>[全身の使い方]</p> <p>[手の使い方]</p> <p>[発作など]</p>
学習活動	<p>[見る] 見える距離や角度、追視、見る姿勢など。</p> <p>[聞く] どんな音を聴いている様子か。2種類以上の音を聞き分けられるか。騒がしい中で選択的に聞くことができるかなど。</p> <p>[触覚] 触れられることに過敏な部分。好きな肌触り。手指で触れたがるものや、触れたときの違いを感じ分けられるかなど。</p> <p>[全身の揺れ] 好きな遊具や揺れの強度など。</p> <p>[手の動き] 興味あるものへの手の出し方。正中線をまたぐか。握らせたものへの引き返し。両手での把握、持ち替え。平面にあるものをつまみ方。器の中身を出す。ものを器に入れる。</p>	<p>[見る] 見えにくさ、とらえにくさがあるか。</p> <p>[聞く] [触覚]</p> <p>[全身の揺れなど]</p> <p>[手の動き] 両手での把握、持ち替え、平面にある物をつまみ方。物を積む。使用できる道具とその使い方。</p> <p>[数量把握] 大小、長短等2次元と真ん中の理解。数唱、1対1対応、かたまりとしていくつの数をとらえられるか。1つ大きい数、5まで10までの足し算など。</p> <p>[描画] 線画、円錐画、閉じた○、人物の絵として「頭足人」「体の分離」「手足に幅がつく」「首がつく」のどの段階にあるか。描いたものを名づけたり、意味づけしたりできるか。正面・横向き・後ろ向きを描くか。基底線があるか。</p>	<p>[教科] 各教科の到達度と困難な点（見えにくさ、とらえにくさも含む）をあげる。その他の状況についても、実態としてあげながら、外界へ向かいそれを取り込む力についてまとめて書く。保存の概念、具体的事実をまとめる力、具体的事実から推論する力、目に見えない世界を思い描いて推論する力など。</p>
社会生活に関すること	<p>[大人と1対1のかかわりで] 働きかけたときに目が合うか。働きかけに対して笑顔で応ずるか。働きかけを期待して大人の顔を見て、自分から笑いかけるか。大人の声かけに応答するかのような発声があるか。大好きな大人に触れようと手を伸ばしたり身を乗り出したりするか。要求の表出はどのようにあるか。</p> <p>[1対1のかかわりに第3の物や場面・人を介在させて] 人見知り、場所見知りあるいは、知らない場面や苦手な場面の拒絶がみられるか。大人を支えにそれらに再び向かっていこうとするか。</p> <p>三項関係の形成状況はどうか。たとえば、手差し、指差しがみられるか。どんな場面でそれを使うか。大人が物を提示したときに、それと大人の顔を見比べるか。模倣の力が芽生えているか。発声によりある程度具体的な物や行為を表現することができるか。</p>	<p>[大人とのかかわりの中で] 自分の名前を呼ばれてわかる。名前を通称で・姓で呼ばれて応えることができる。自分のやりたいことをやり抜こうとする力は豊かか。だだこねが見られる場面はあるか。2種類の行為を示されると選ぶことができるか。苦手な活動を避けようとするか、それとも大人の励ましでがんばれるか。大人の言葉による自我のコントロールはできるか（自律心）。</p> <p>[友達の中で] やりたいこと・欲しい物を自分が一番にやろう・手に入れようとするかそれとも他の人に譲ることが多いか。友達を助けようとするか。</p> <p>[コミュニケーション] 1語文、2語文、3語文以上を使って話し言葉で伝えることができるか。そのほかの手段を使うか。</p>	<p>[9・10歳の飛躍的移行期まで] 二分的評価（できる・できない）にこだわりがあるか。自己肯定感ほどの程度豊かか。論理的思考・抽象的思考はどうか。</p> <p>友達と教えたり教えられたりする経験を豊かにもっているか。友達と共同して価値をつくりだすことができるか。</p> <p>[13・14歳の節目に向けて、あるいは超えて] 自分なりの価値観と、その価値を反映する大人のモデルがあるか。あるいはタレントなどがそのモデルになっているか。価値観を共有するような親友がいるか。自分を見つめ他の人との違いを洞察しているか。アイデンティティーの確立はどれくらいか。</p>